

# Press Release

## プレスリリース

2008年9月18日

株式会社日本医療データセンター

報道関係各位

日本医療データセンター 『JMDC データで読むヘルスケアレポート』 vol. 10

### 標準体重でもメタボに注意！ 血液検査が示す「重病疾患のリスク」は2人にひとり

医療データベースの構築・分析及び健康保険組合へのソリューション提供を行う、株式会社日本医療データセンター（東京都千代田区、代表取締役：木村 真也）が実施した調査によると、BMI25未満の標準体重でも3人に1人が血圧、脂質検査でリスク有りと判定されていることがわかりました。また高血圧症、脂質異常症、糖尿病、肝疾患のいずれかのリスクを持っている人は、2人に1人でした。

この結果は、日本医療データセンターが契約する健康保険組合加入者で、2006年4月～2007年3月の1年間の健診受診者で血液検査項目がある52,265人（30～59歳男女）を対象に解析し、判明したものです。

BMI 区別に血液検査リスクを見たところ、BMI25未満で高血圧症、脂質異常症、肝疾患、糖尿病のいずれかのリスクを持っている人が49.8%、「2人に1人がリスク有り」という結果になりました。また、レセプト(\*)データと健診データでBMI区別かつ血液検査のリスク有無別に、心疾患や脳血管疾患など重病疾患の受療率を解析したところ、BMI25未満でも血液検査でリスク有りの人は、無い人に比べて受療率は3.6倍におよび、BMI25以上と同様に比較した場合よりその倍率は高いことがわかりました。

\*診療報酬明細書のこと

この分析から、北里大学医学部 佐藤敏彦准教授（公衆衛生学）は、以下のようにコメントしています。

「BMI25以上の肥満傾向にある人は血液検査の数値も高いことは想像できますが、標準体重でも血液検査でなんらかのリスクがある人は多く、それらの人たちも心疾患や脳血管疾患に罹る確率が高まるがこの医療データは示しています。スリムな体型を維持していても、血液はドロドロという人が少なくないのです。血液検査の結果に問題がある人は、食事など早めに対策を始めましょう。」

---

■ 本件に関する問い合わせ先

株式会社日本医療データセンター ヘルスケア事業部 担当 小沼・大澤

メールアドレス：[FAQ@jmdc.co.jp](mailto:FAQ@jmdc.co.jp) (TEL):03-3511-6781 (FAX):03-3511-6782

# Press Release

## プレスリリース

### ◆資料

#### ■BMI 区分別 リスク保有率

	BMI25 未満	BMI25 以上
いずれかのリスク有り	49.8%	82.2%
高血圧症リスク	29.0%	56.1%
脂質異常症リスク	25.6%	53.0%
糖尿病リスク	12.2%	28.1%
肝疾患リスク	4.5%	9.7%

(分析期間:2006年4月~2007年3月 分析対象:健診受診者で血液検査項目有り 30~59歳男女 52,265人)

#### 【調査した血液検査5項目と基準値】

- \*肥満リスク: BMI25以上
- \*高血圧症リスク: 最高血圧 130mmHg以上または、最低血圧 85mmHg以上
- \*脂質異常症リスク: 中性脂肪 150mg/dl以上または、LDLコレステロール 140mg/dl以上
- \*糖尿病リスク: 空腹時血糖値 110mg/dl または、HbA1c5.5%以上
- \*肝疾患リスク:  $\gamma$ -GTP 101 IU以上

#### ■生活習慣病合併症の受療率(BMI区分別、検査リスク有無別)

	BMI25 未満	BMI25 以上
リスク無し	1.2%	2.0%
リスク有り	4.3%	6.4%

#### 【生活習慣病合併症】

虚血性心疾患、脳梗塞、脳出血、その他の脳血管疾患、糖尿病性腎症、  
高血圧性心臓障害、痛風腎、糖尿病性神経症、糖尿病性網膜症

### ■関連情報

メタボリックシンドローム対策レシピ「Pep! eco-recipe(エコレシピ)vol.16」に詳しい情報が掲載されています。

詳しくはこちら: <http://www.jmdc.co.jp/eco-recipe>

#### ◇JMDC データで読むヘルスケアレポートとは

株式会社日本医療データセンターが、月1回発表するレポートで、同社独自の技術を用いたJMDCデータ\*を利用して、リアルな患者のデータから、日本人の健康や疾病の傾向を分析するものです。

\*JMDC データ: 株式会社日本医療データセンターが約33万人(2007年11月現在)の健康保険組合加入者から収集した健康診断の情報やレセプト情報を解析したデータ。個人を特定しないよう加工され、時系列での処理が可能のため、治療の経過などを疫学的に検証することが可能。

#### ◇日本医療データセンター( <http://www.jmdc.co.jp/> )

個人を特定しない医療データ生成・分析を行うことができる、日本で初めての会社として、健康保険組合および製薬会社などにデータ活用ソリューションを提供しています。かつては個人情報の問題と、医療機関ごとに異なる用語やフォーマットによりデータとして利用することが難しかったレセプトですが、日本医療データセンターでは、これまで約1,080万件(2008年3月末時点)のレセプトデータの処理実績で培ったノウハウから、傷病、医薬品、診療行為、投薬などの分析マスターを独自で作成いたしました。本年4月から開始された特定保健指導の本格的実施により、データの基盤整備と解析手法のニーズが拡大していきます。日本

# Press Release

## プレスリリース

医療データセンターは、こうした施策を改善に繋げるために、「データによる検証」を提言し一翼を担ってまいります。